

「おすすめメディア」

2021年3月25日

せやろ がい!

Youtuber 芸人

せやろがい
おじさんとは?

沖縄在住の芸人さん。青い海をバックに「お〜い〇〇!」と呼びかけ、時事問題についてひとしきり思いの丈をぶつけたら「せやろがい!」と叫んで海にドボンと飛び込む。不思議なおじさんだが専門家の意見を参考に作られた動画は思わず見入ってしまう...!!
むっかしい話題も笑いながら知れるよ!



おすすめ
ポイント
1

痛快!

見たことがない方は、
まず一度見てほしい...!!



イチオシ
はコチラ➡



ズバツと切り込むから爽快!

ポイント
2

やさしい

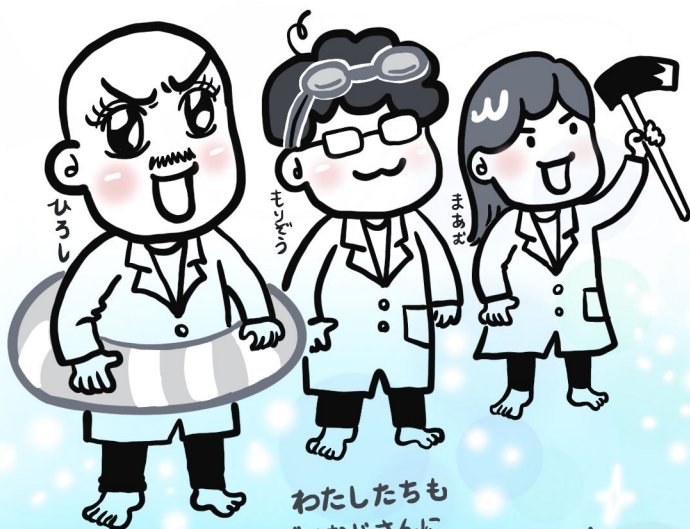
見る人への心くばりがあるから、
押し付けがましくない。笑
白黒ははっきりできない問題もたくさんある時代だから、「みんなで悩むきっかけ」を作りたいんだ。て

ポイント
3

シェア しやすい



政治や環境のことって、
ちょっと話しづらい...。
でも、この動画なら気軽にシェアできるよ!



わたしたちも
せやろがいおじさんに
負けてられないわ!

★メンバー募集中★

「母なる地球を守ろう研究所」

略して「ははラボ」は、現在 理事の
ひろし、もりぞう、まあむの3人で
活動中! まずはfacebookを
のぞいてみてね。



Follow us



せやろがいおじさんに学ぶ環境問題の伝え方

中森 正茂（理事）

地球環境問題は分かりづらくて敬遠されがち。どうしたらより多くの人たちに届くだろうか？ ははラボの大きな悩みでもあります。そこで今回のメルマガでは、難しい環境問題や社会問題を分かりやすく伝えるメディアを紹介することにしました。

今や YouTuber の社会的な影響は無視できないほど大きくなっていて、10 万人のチャンネル登録者がいれば地方テレビ局並み、100 万人ならキー局並みの影響力があると言われていそう。本メルマガでは、そんな影響力のある YouTuber の一人、真っ赤なふんどしと手ぬぐい姿で沖縄のきれいな海に飛び込むパフォーマンスが印象的な「せやろがいおじさん」を紹介します。

せやろがいおじさんは、「リップサービス」というお笑いコンビの現役の芸人さん。おじさんと言ってもまだ若干 32 歳(2021 年 3 月現在)。若い人たちをターゲットに大切なことを伝えたいとのことでこのネーミングにしたのだそう。美しい沖縄の海を背景に、畳み込むような語り口とテロップに笑いとユーモアを織り交ぜながら難しい社会問題などを 5 分程度で分かりやすく伝える動画が人気を呼び、せやろがいおじさんの YouTube チャンネル「ワラしがみ」の登録者は現在 32.7 万人、YouTube 動画の方も多い時には閲覧数が 30 万を超えます。

そして、3 月 11 日には『【3.11 から 10 年】急激に変わった最新のエネルギー情勢を踏まえて原発について考えてみた』と題して、エネルギー問題を取り上げました[1]。

「原発止めたら電力足りなくなるのでは？」「コストを考えたら原発かな？」「自然エネルギーで電力を賄うのは現実的ではないのでは？」など、一般の人の認識にも寄り添いながらも、この 10 年で世界のエネルギー情勢が激変し、「エネルギーの中心が太陽光発電と風力発電にシフトした」というのが世界の共通認識になっていることを紹介しています。そして、古い情報に基づいた何となくのイメージではなく、最新のエネルギー情勢を踏まえた上で、原発が本当に必要なのか、目を逸らさずに考えてみよう、と呼びかけます。

今回は、環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也とのインタビューを基に内容を構成したようです[2]。前述したように YouTuber の影響力が大きくなっていることから専門家も率先して YouTuber のインタビューを受ける機会が増えてきており、本来マスメディアが果たすべき専門家の知見を分かりやすく一般の人々に伝える役割を、問題意識をもった YouTuber が果たしつつある現実を期待を持って迎えたいと思います。

注1)『【3.11 から 10 年】急激に変わった最新のエネルギー情勢を踏まえて原発について考えてみた』

<https://www.youtube.com/watch?v=F0C8v5viGGQ>

注2)『3.11 特別対談「最新のエネルギー情勢から考える 原発は必要なのか？」コネラジ 第123 回 特別ゲスト 飯田 哲也さん』

<https://www.youtube.com/watch?v=igNG8KPUTec>

「せやろがいおじさん」の政治的話題の伝え方を学びたい

伊丹 ルリ子（理事）

今、せやろがいおじさんが伝えたいこと、それは今の日本の問題の本質だと思います。せやろがいおじさんの発言を、私たちが聞いて、今何が問題なのかを知ることが、わたしたちの行動も変えていけるきっかけになると思います。そして言葉のおもしろさが痛快ですので、一部を紹介します。

[グッとラック！最終回でどうしてもいいなかったことを叫んだ - YouTube](#)

せやろがいおじさんー

「政治的話題がタブーな風潮」・・・「政治のハードル無くしてこ〜」

日本社会は 「語りづらさ」がある・・・

政治的な話しをしたら、意見の違う人と対立して めちゃめちゃ 叩かれるやん。

せやからもう政治的な話しは触れない方が無難やわ言うて タブー化してると思う。

けどこれって 政治的な話しをすること自体が悪いんじゃないくて、意識の違う人を敵とみなし 対立するような 接し方しかできてへんのが 悪いと思うねん！

つまり 異論のコミュニケーションの取り方が 超絶下手くそというのが 問題の本質や。確かに 異論と出会った時は 理解しがたいし 自分の意見を否定されたような 気持ちになり 場合によっては 自分の人格すらも 否定されたような感覚になって 自己防衛のために 異論を攻撃してしまう。 気持ちは分かる！

けど 異論は決して 敵やない！ 異論と触れ合うことで より良い結論を導き出せるということもあるはずや！ 今我々に必要なのは お互いの意見を 投げ合い、受け止め合う 会話のキャッチボールや！ けど今世の中で 主流となっているのは 会話のドッチボールやねん！ 自分の意見を バーン！とぶつけて 相手が痛い痛い痛い 言うてるのを見て フッフッフ！ 論破！・・・ みたいな。

もうネット上なんか特にひどくて SNS なんか もはや全国会話のドッジボール大会の会場みたいになって 肩の強さ半端じゃないやつらが 言葉の剛速球を ビュンビュン投げ合っ とんねん！ 勝ち負けや論破とかは 所詮 自己満足に過ぎひんやん。

それよりも 異論を交わして より良い 着地点を みつけるほうが よっぽど 価値あることやと 思わん？

そもそもネットで配信するのが苦手な人も多いと思う。そんな人は 半径 1 メートル以内に いる 家族とか友人とか恋人と政治の話をするだけでもええと思う！

そう思ったら政治のことを話す ハードルがちょっと低くならへん？ その調子で どんどん低くして 低くして 最終的には 地中に埋めるぐらい低くして・・・

「 政治を語るハードル無くしてこ〜 」 せやろがい！